

参照ラスタを使用したベクタ→ラスタ変換

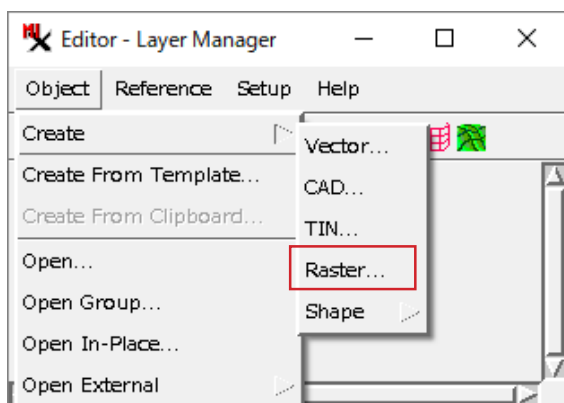
- ベクタの GRID と同じ大きさのセルを持つラスタを生成する。
- 参照ラスタを使用し、ベクタテーブルの値を持つラスタを作成する。

元データ：01_VECTOR_GRID.rvc (ベクタ)

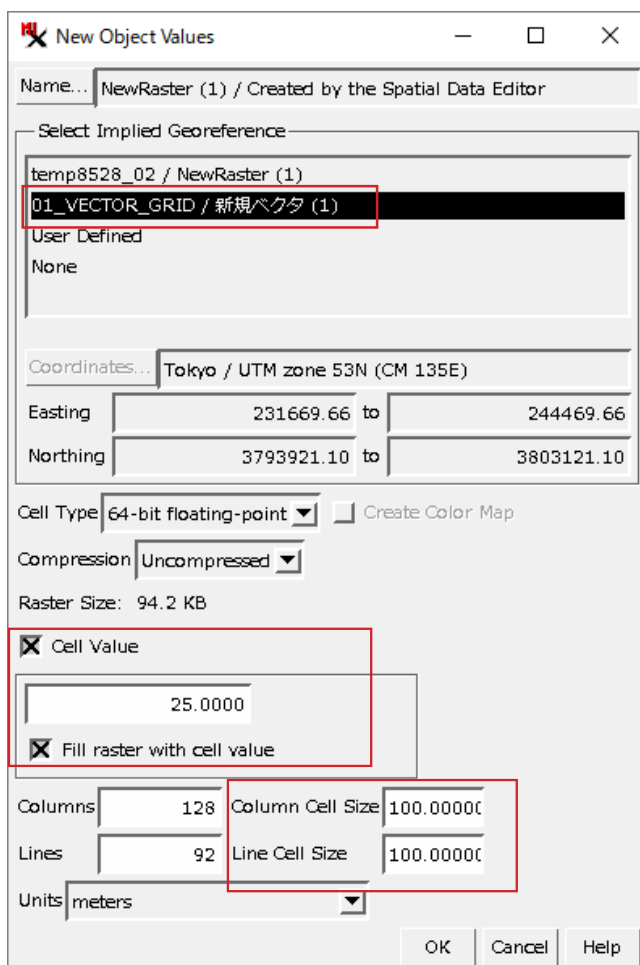
1) Editor で参照ラスタを作成する

[Main]>[Edit] で Editor を開きます。

元となるベクタ "01_VECTOR_GRID.rvc" を開いておきます。



[Object]>[Create]>[Raster] で新規ラスタを作ります。

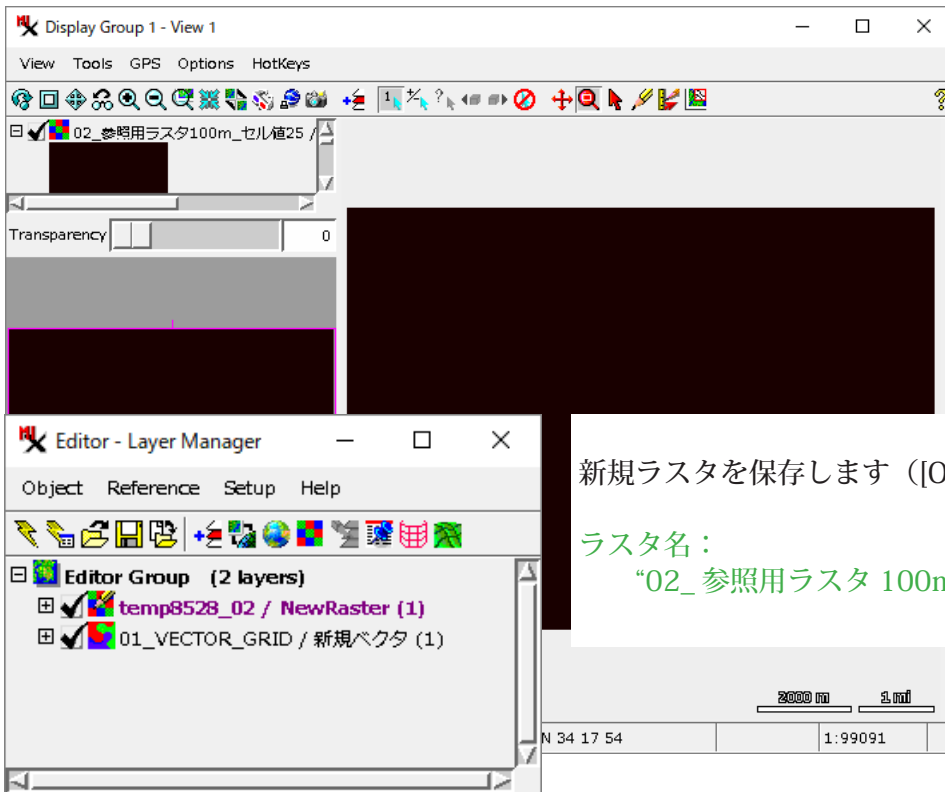


[Select Implied Georeference] パネルで開いておいたベクタデータを指定します。

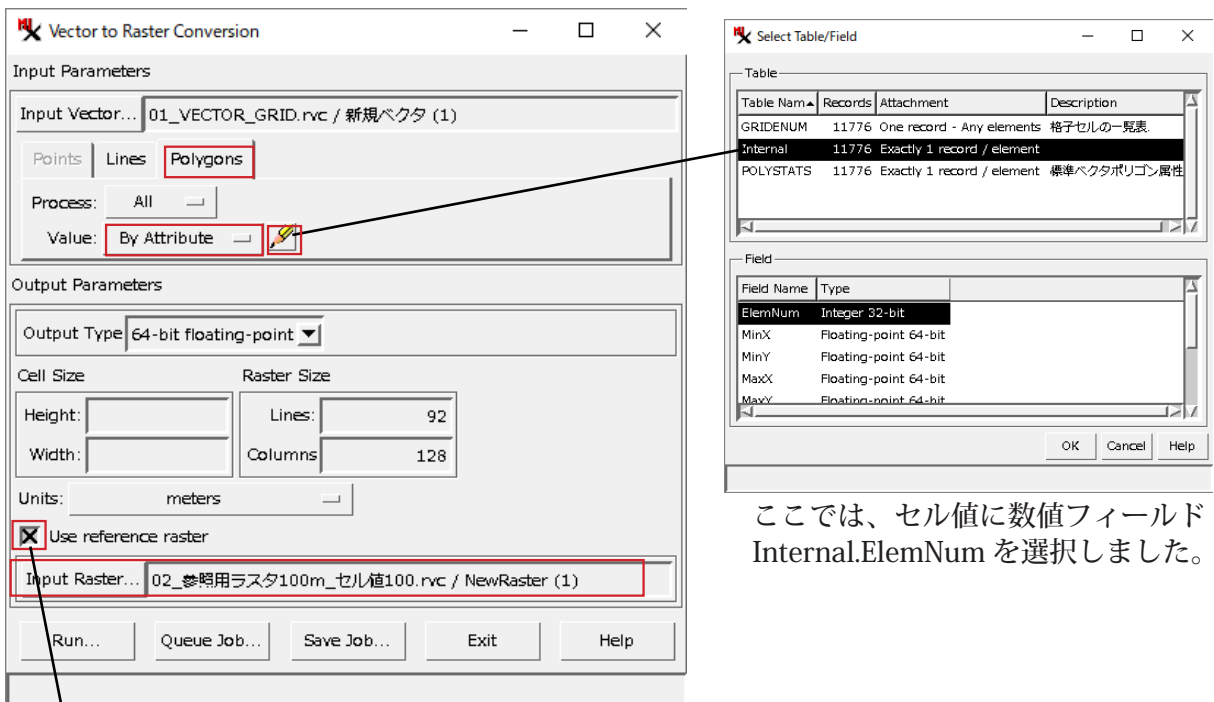
Cell Value をオンにして値を入れます。

Cell Size を指定します。

OK を押すと元のベクタと同じサイズのラスタが作られます。

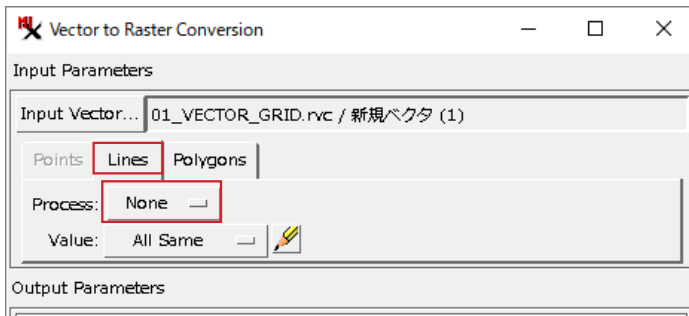


2) ベクタ→ラスタ変換を行います。



このトグルをオンにし、
1) で作成した参照ラスタを指定します。

ここでは、セル値に数値フィールド
Internal.ElemNum を選択しました。



Line タブで
Process: を「None」にします。

実行 [Run] します。

- 3) 結果のラスタを表示しました。
元のベクタと同じ CRS や範囲を持つラスタが生成されています。



ベクタの Layer Info

01_VECTOR_GRID / 新規ベクタ (1) - Layer Info...

- Basic Vector Layer Information
 - Lines: 23768 Polygons: 11776 Nodes: 11993
 - Coordinates: 2D-XY Topology: Polygonal
 - Easting: 231669.659 to 244469.659
 - Northing: 3793921.096 to 3803121.096
- CRS: Tokyo / UTM zone 53N (CM 135E)
- Object: 01_VECTOR_GRID.rvc / 新規ベクタ (1)
- Georeference Details

生成されたラスタの Layer Info

03_Raster_ベクタ属性をセル値として転写 / 新規ベクタ (1) - Layer Info...

- Basic Raster Layer Information
 - Dimensions: 128 columns x 92 rows Type: 64-bit floating-point
 - Cell Size: 100 m
 - Easting: 231669.659 to 244469.659
 - Northing: 3793921.096 to 3803121.096
- CRS: Tokyo / UTM zone 53N (CM 135E)
- Object: 03_Raster_ベクタ属性をセル値として転写.rvc / 新規ベクタ (1)
- Georeference Details